

上島の文芸

水曜会【弓削】

いちじくの枝剪り落とし果とおり二月の空は底なし
の青

池田 友幸

今日は何して過ごそうか春炬燵

亀島 一美

昼は昼で上を下へのうかれ猫

小林しぐれ

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子

子等に誘はれ白魚の踊り食ひ

森本 恵子

だるそうにだるそうに伸びうかれ猫

森本 砂恵子

生名短歌会【生名】

西本 優子

人ごとに「温うなりました」声かけて電動車走らす

海沿いの道

六十年連れ添う妻と庭に眺る朝の陽きらめく寒桜花

鬼は外向ふ三軒空家なり

村上 宗子

また一人家族増えるというニュース孫に子供の出来

るしあわせ

この次はバスで行こうよ弓削一周島の桜の咲き揃う

ころ

絶えず吾を呼ぶ夫いて束の間を梅咲く下に心鎮める

浜田伊勢子

戦友の妻やいかにと賀状かく
同級生男ひとりとなりにけり

八幡 丸

吹く風に白き山茶花揺れてをり夕空に浮かぶ夫の面

通販にはまり一間はごみの山

まだ若い老人クラブ敬遠す
年金が熟年離婚の抑止力

吉田 磯

今日は何して過ごそうか春炬燵

宮本佳世子

昼は昼で上を下へのうかれ猫

影

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子

子等に誘はれ白魚の踊り食ひ

森本 恵子

だるそうにだるそうに伸びうかれ猫

森本 砂恵子

生名短歌会【生名】

西本 優子

人ごとに「温うなりました」声かけて電動車走らす

海沿いの道

六十年連れ添う妻と庭に眺る朝の陽きらめく寒桜花

鬼は外向ふ三軒空家なり

村上 宗子

また一人家族増えるというニュース孫に子供の出来

るしあわせ

この次はバスで行こうよ弓削一周島の桜の咲き揃う

ころ

絶えず吾を呼ぶ夫いて束の間を梅咲く下に心鎮める

浜田伊勢子

機嫌よき介護の祖母に屠蘇祝ふ
白寿喜寿老々介護して久し

佐伯 真柳

吹く風に白き山茶花揺れてをり夕空に浮かぶ夫の面

まだ若い老人クラブ敬遠す
年金が熟年離婚の抑止力

吉田 磯

今日は何して過ごそうか春炬燵

宮本佳世子

昼は昼で上を下へのうかれ猫

影

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子

子等に誘はれ白魚の踊り食ひ

森本 恵子

だるそうにだるそうに伸びうかれ猫

森本 砂恵子

生名短歌会【生名】

西本 優子

人ごとに「温うなりました」声かけて電動車走らす

海沿いの道

六十年連れ添う妻と庭に眺る朝の陽きらめく寒桜花

鬼は外向ふ三軒空家なり

村上 宗子

また一人家族増えるというニュース孫に子供の出来

るしあわせ

この次はバスで行こうよ弓削一周島の桜の咲き揃う

ころ

絶えず吾を呼ぶ夫いて束の間を梅咲く下に心鎮める

浜田伊勢子

機嫌よき介護の祖母に屠蘇祝ふ
白寿喜寿老々介護して久し

佐伯 真柳

吹く風に白き山茶花揺れてをり夕空に浮かぶ夫の面

まだ若い老人クラブ敬遠す
年金が熟年離婚の抑止力

吉田 磯

今日は何して過ごそうか春炬燵

宮本佳世子

昼は昼で上を下へのうかれ猫

影

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子

子等に誘はれ白魚の踊り食ひ

森本 恵子

だるそうにだるそうに伸びうかれ猫

森本 砂恵子

生名短歌会【生名】

西本 優子

人ごとに「温うなりました」声かけて電動車走らす

海沿いの道

六十年連れ添う妻と庭に眺る朝の陽きらめく寒桜花

鬼は外向ふ三軒空家なり

村上 宗子

また一人家族増えるというニュース孫に子供の出来

るしあわせ

この次はバスで行こうよ弓削一周島の桜の咲き揃う

ころ

絶えず吾を呼ぶ夫いて束の間を梅咲く下に心鎮める

浜田伊勢子

機嫌よき介護の祖母に屠蘇祝ふ
白寿喜寿老々介護して久し

佐伯 真柳

吹く風に白き山茶花揺れてをり夕空に浮かぶ夫の面

まだ若い老人クラブ敬遠す
年金が熟年離婚の抑止力

吉田 磯

今日は何して過ごそうか春炬燵

宮本佳世子

昼は昼で上を下へのうかれ猫

影

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子

子等に誘はれ白魚の踊り食ひ

森本 恵子

だるそうにだるそうに伸びうかれ猫

森本 砂恵子

生名短歌会【生名】

西本 優子

人ごとに「温うなりました」声かけて電動車走らす

海沿いの道

六十年連れ添う妻と庭に眺る朝の陽きらめく寒桜花

鬼は外向ふ三軒空家なり

村上 宗子

また一人家族増えるというニュース孫に子供の出来

るしあわせ

この次はバスで行こうよ弓削一周島の桜の咲き揃う

ころ

絶えず吾を呼ぶ夫いて束の間を梅咲く下に心鎮める

浜田伊勢子

機嫌よき介護の祖母に屠蘇祝ふ
白寿喜寿老々介護して久し

佐伯 真柳

吹く風に白き山茶花揺れてをり夕空に浮かぶ夫の面

まだ若い老人クラブ敬遠す
年金が熟年離婚の抑止力

吉田 磯

今日は何して過ごそうか春炬燵

宮本佳世子

昼は昼で上を下へのうかれ猫

影

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子

子等に誘はれ白魚の踊り食ひ

森本 恵子

だるそうにだるそうに伸びうかれ猫

森本 砂恵子

生名短歌会【生名】

西本 優子

人ごとに「温うなりました」声かけて電動車走らす

海沿いの道

六十年連れ添う妻と庭に眺る朝の陽きらめく寒桜花

鬼は外向ふ三軒空家なり

村上 宗子

また一人家族増えるというニュース孫に子供の出来

るしあわせ

この次はバスで行こうよ弓削一周島の桜の咲き揃う

ころ

絶えず吾を呼ぶ夫いて束の間を梅咲く下に心鎮める

浜田伊勢子

機嫌よき介護の祖母に屠蘇祝ふ
白寿喜寿老々介護して久し

佐伯 真柳

吹く風に白き山茶花揺れてをり夕空に浮かぶ夫の面

まだ若い老人クラブ敬遠す
年金が熟年離婚の抑止力

吉田 磯

今日は何して過ごそうか春炬燵

宮本佳世子

昼は昼で上を下へのうかれ猫

影

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子

子等に誘はれ白魚の踊り食ひ

森本 恵子

だるそうにだるそうに伸びうかれ猫

森本 砂恵子

生名短歌会【生名】

西本 優子

人ごとに「温うなりました」声かけて電動車走らす

海沿いの道

六十年連れ添う妻と庭に眺る朝の陽きらめく寒桜花

鬼は外向ふ三軒空家なり

村上 宗子

また一人家族増えるというニュース孫に子供の出来

るしあわせ

この次はバスで行こうよ弓削一周島の桜の咲き揃う

ころ

絶えず吾を呼ぶ夫いて束の間を梅咲く下に心鎮める

浜田伊勢子

機嫌よき介護の祖母に屠蘇祝ふ
白寿喜寿老々介護して久し

佐伯 真柳

吹く風に白き山茶花揺れてをり夕空に浮かぶ夫の面

まだ若い老人クラブ敬遠す
年金が熟年離婚の抑止力

吉田 磻

今日は何して過ごそうか春炬燵

宮本佳世子

昼は昼で上を下へのうかれ猫

影

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子

子等に誘はれ白魚の踊り食ひ

森本 恵子

だるそうにだるそうに伸びうかれ猫

森本 砂恵子

生名短歌会【生名】

西本 優子

人ごとに「温うなりました」声かけて電動車走らす

海沿いの道

六十年連れ添う妻と庭に眺る朝の陽きらめく寒桜花

鬼は外向ふ三軒空家なり

村上 宗子

また一人家族増えるというニュース孫に子供の出来

るしあわせ

この次はバスで行こうよ弓削一周島の桜の咲き揃う

ころ

絶えず吾を呼ぶ夫いて束の間を梅咲く下に心鎮める

浜田伊勢子

機嫌よき介護の祖母に屠蘇祝ふ
白寿喜寿老々介護して久し

佐伯 真柳

吹く風に白き山茶花揺れてをり夕空に浮かぶ夫の面

まだ若い老人クラブ敬遠す
年金が熟年離婚の抑止力

吉田 磻

今日は何して過ごそうか春炬燵

宮本佳世子

昼は昼で上を下へのうかれ猫

影

落の薹本家とは垣結はぬまま

田坂 紫苑

荒庭の彩燃え盛る梅一樹

中本 砂恵子